

まちに  
実りの秋が  
やってきた！

△水元中央小前に設置されたかかし。同校の農業体験学習を指導する中野光彦さん（妙堂崎）が毎年製作している。

## 初めての稲刈りを体験 田んぼの学校

十月三日（土）、町で主催する田んぼの学校・農作業体験で、「稲刈り」（水元地区須藤喜与一さん所有の水田にて）が行われました。

朝、集まった子どもたちは全員稲刈り初体験。指導員の産業観光課・佐藤農業振興班長から刃がギザギザした稲刈りかまの使い方を聞いた後、田んぼに一列に並んで一束ずつ丁寧に稲を刈っていきました。

初めてかまを持つ子どもは、最初恐る恐る一本ずつ



△すぐに要領をつかみ上手に刈っていく子どもたち。

刈っていました。慣れてくると一束をまとめていっぺんに「ザツ」と刈ることができ収穫の喜びを感じていました。刈り取りが終わると束ねた稲を旧水元小学校の校庭のフェンスに干し、初めての稲刈り体験が終了しました。

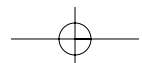
今回収穫したお米（つがるロマン）は、町子ども会やサンシャインスクールに配られ、子どもたちの事業のために有効に活用されることになっています。



△稲刈りを体験した子どもたち。春からジュニアリーダーも手伝いました。

春の田植えから始まったこの農作業体験学習も、今年で終了となりますので、今年体験に参加した子どもたちの感想をご紹介します。

- ・ 田んぼの中はヌルヌルしたけど、温かくて気持ちよかったです（田植えに参加した小学三年生）
- ・ ドジョウやバッタがいっぱいいた（草取りに参加した小学二年生）
- ・ なんか工作みたいで楽しい（かかしづくりに参加した小学一年生）
- ・ かまでゴシゴシするといっぺんにたくさん刈れて楽しかった（小学二年生）



# つるた農事だより



△稲刈り機を運転させてもらう。(菖蒲川小)



△稲を刈った後は束ねる作業。なかなか難しい。(梅沢小)



△自然乾燥した稲を脱穀する児童たち。(富士見小)



△満面の笑みで収穫する児童。両手に稲穂を持ちたくましい。(富士見小)

## 各学校田でも収穫作業

管内小学校の水田でも収穫が行われがました。

九月二十四日(木)は富士見小学校、二十五日(金)は菖蒲川小学校、三十日(水)は梅沢小学校で稲刈り学習が行われ、携わった児童全員で収穫の喜びを分かち合いました。

稲をかまですり作業では、昨年経験している六年生の手際の良さが目立ち、農作業を楽しむことができました。

また、十月五日(月)には、富士見小学校で脱穀作業が行われ、刈り取り後自然乾燥させておいた大切なお米を一粒も無駄にすることなく脱穀機にかけ、約240kgもの収量を得ることができました。

この収穫されたお米は、これから学校で行われる、餅つき大会のお餅や収穫祭のおにぎりとして子どもたちに振舞われます。

## ひょう害感謝セールを開催

### 津軽ぶどう協会

十月三日(土)～十二日(月)まで、道の駅つるた「鶴の里あるじゃ」で、昨年のひょう被害を受けたスチューベンブドウを消費者の皆さんに購入していただき、「ブドウ農家」をご支援していただいたお礼として、津軽ぶどう協会(成田義弘会長)の皆さんがスチューベンブドウを持ち寄り、市価の三割以上安く販売する「スチューベン感謝セール」が行われました。



△量、質とも最高の出来という町内産スチューベン



△セール初日に並べられた300箱

ウの出来は、昨年のひょう害の影響が心配されましたが、品質、収穫量とも例年以上の出来泊まりました。  
セールで販売された一箱には5kg以上も入っており、味は最高とあって、中には何箱もまとめ買いされている方もいらっしやるほど。期間中に生産者から持ち寄られたスチューベンは千箱でしたが、すぐに完売と大好評の感謝セールとなりました。